

# 環境県民フォーラムだよ!り

VOL. 39 2017年 3月 1日 発行

## “エコな～らライフ宣言” 植樹ツアーを実施しました



「エコな～らライフ宣言」は、地球温暖化の原因となっているCO<sub>2</sub>をみんなで少しでも減らそうという取り組みで、平成20年度より始めました。家庭で取り組める省エネ行動を宣言していただき、実践していただくことにより、CO<sub>2</sub>の削減につなげていきます。宣言された方には、毎年実施している植樹バスツアーに参加していただき、植樹をすることにより、さらに地球温暖化防止に貢献していただいています。

今年度は約60名の宣言者から参加者を募集し、平成28年11月19日(土)に大和郡山市立野外活動センター「風とんぼ」にて植樹バスツアーを実施しました。

今回はイチヨウ・イロハモミジ・ヤマボウシ・コブシの苗木を合わせて10本植樹しました。植樹を初めて体験した人も多く、皆さま真剣に取り組まれていました。

その後、自然体験教室として、小枝と好きな色の毛糸を使ったインディアンブローチづくりをしました。大人の方も子どもたちも熱心に取り組んでおり、自分だけのオリジナルのブローチに大満足でした。

昼食の後はピザ作り体験です。野外活動センターのスタッフの方の指導のもと、参加者自らまきの火起こしから生地作り、焼き上がりまでの作業を行いました。焼き上がったピザは、チーズがとろけて生地はふっくらさくさくで、大成功でした!

今回は家族で参加された方が多く、家族で自然にふれる体験をしたいと思っても、普段はなかなか機会がないので、今回参加して良かったという感想をいただきました。

CO<sub>2</sub>排出量の削減のためには、各自ができることを1つずつ、そして継続していくことが大切です。当フォーラムが推進する「エコな～らライフ宣言」の取組の1つ1つの効果は決して大きなものではありませんが、みんなが取り組めば大きな力となります。まだ宣言されていない方は、是非この機会にご賛同頂ければと存じます。そして、ご参加された皆さまには、植樹にご協力いただきましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。

(フォーラム事務局)

「エコな～らライフ宣言」はホームページから宣言できます

「URL : <http://www.eco.pref.nara.jp/sengen/ecocheck.html>」

皆さまからの宣言をお待ちしております!



## エネルギー分科会 エコクッキング教室を実施しました

1月18日橿原市中央公民館で、鍋帽子の保温力を利用して料理を作る「鍋帽子エコクッキング」を、18名の参加者を迎え実施しました。

エコ講座「食品ロスを減らす工夫」では、「買い過ぎない・作り過ぎない・腐らせず最後まで使い切る」ための工夫を紹介しました。冷蔵庫の収納について、参加者の方からも実行中の工夫を紹介していただき、食品ロスの関心の高さを知りました。

調理実習では、大根1本使い切りの献立を作り、ふろふき大根、鶏の手羽中肉のあっさり煮、豚汁、野菜の皮を使ったきんぴらに大根を使い、だしをとった後の昆布と鰹の佃煮等5品を、鍋帽子を使って調理しました。調味料を入れて5分～15分沸騰させ鍋をコンロから下ろし、鍋帽子をかぶせておくことで保温力で調理ができます。茶碗蒸しも失敗なくでき、素材の味を生かした優しい味のおいしさや、鍋帽子が省エネで手間いらずという利点を感じていただけました。今回は鍋帽子の他に、薄い小布団や新聞紙、バスタオルを使って調理したので、「すぐ



に家庭で実践したい」という感想が多く、ご家庭で色々な料理に保温調理が広がることを楽しみにしています。

(奈良友の会 藤原)

## 自然環境分科会 自然環境セミナーと自然体験教室を実施しました

### 【自然体験セミナー】

9月10日、葛城市當麻文化会館で自然環境セミナーを開催しました。

初めに、やまと菜の花ねっとのメンバーが作った奈良県産菜種油「奈乃葉菜油」を使用した天ぷらや、桑の実をつかったお茶・料理などの試食会をしました。次に、富研一氏(近畿大学農学部)による講演「植物の利用と健康」では、タチバナ種子の油糧を資源化し、昨今流行のアロマオイルとして商品化するなど、地域活性化への有用性について聞くことができました。最後に、各地域での取組として、菜の花栽培のための土づくり・大学生との協働・全国菜の花サミット報告と今後の展望についての報告がありました。



### 【自然体験教室・明日香の稲刈り体験と棚田の生き物観察】

10月19日、稲刈り体験と棚田の生き物観察が明日香村 稲淵棚田で開催されました。

15家族33人の参加者と、NPO法人 明日香の未来を創る会の指導者(インストラクター)、オーナー有志を含む総勢50人で収穫の喜びを満喫しました。昼食は、地元のお母さん方が作って下さった古代米カレー。昼食の後は、副理事長の今西さん(元理科の先生)による棚田の自然体験教室です。棚田の植物や生き物に触れ、これらが棚田の保全にいかに関わっているか興味深いお話を聞くことができました。「自然の大切さを学べて良かった」「稲淵棚田の新米は本当においしかった」など、うれしい感想をいただきました。

米は本当においしかった」など、うれしい感想をいただきました。

今年は6月中旬に田植え体験を同場所で行いますので、ぜひご参加ください。(問合せ:080-1461-5492(打越))

### 【自然体験教室・天理の落ち葉感謝デー】

11月13日、毎年百数十名が参加する天理市の街路樹清掃に、自然環境分科会も「落ち葉感謝デー」として参加を呼びかけました。当日参加したさくら菜の花プロジェクトのメンバーが、イチヨウの落ち葉を自身が栽培するブルーベリーの肥料としていただくなど輪を広げることができました。



## 資源活用分科会 第2回見学会 報告



11月11日に、おおさか ATC グリーンエコプラザの見学会を行いました。

グリーンエコプラザは、ATCビル ITM 棟 11階西側（会場面積4,500㎡）にあり、環境ビジネスや環境経営に取り組む企業・団体の最新情報を広く一般に紹介することを目的とした、日本で最初の常設展示場です。環境問題全般について学ぶことができるほか、各種イベントも開催されており、年間約20万人が利用しています。館内は、エコマーク、リサイクル、食と環境ビジネス、環境防災、環境教育などの8つのゾーンに分かれています。

初めにガイドの方に地球温暖化の影響について説明していただき、その後それぞれのゾーンを90分間見学しました。エコマークゾーンでは、世界のエコマークや、エコマークのついた商品を選ぶことによって購入などの啓発につながることを学びました。食と環境ビジネスゾーンでは、植物工場野菜を育てている様子を見ることができ、人件費削減につながり機械も最大限の省エネを考えたものになっていることが分かりました。住まい・省エネゾーンでは、窓を2重サッシに交換することで冷暖房費の節約につながるといった展示や、リサイクルされた木材からできた家具の展示がされていました。循環型社会ゾーンでは、3Rを中心とした解説展示（リデュースがやはり良い）、輸送費削減のために発泡スチロールを200箱溶かした9kgの棒の展示などがありました。エネルギーと環境ビジネスゾーンでは、印刷した文字が消えて紙を繰り返し使用できるコピー機（水性ゲルインクを使用）・節水率95%バルブ・エコスポーツ用品・分別と運搬の

作業が画期的に改善するリレーバッグなどが展示されていました。環境防災ゾーンでは緊急地震速報受信機や木質耐震シェルターが展示されていました。

これらの見学をとおして、環境に対しての企業努力や最新情報を知ることができました。

（ならコープ 稲野）



植物工場



木製チップ工場

## エコライフ分科会 浄化センターを見学しました

10月17日、大和郡山市の「浄化センター」、五條市にある「吉野川浄化センター」の2か所を見学しました。

特に、大和郡山市の浄化センターは、24万 $\text{m}^3$ /日の処理能力を持つ奈良県最大の浄化センターで、敷地面積57.5haと、甲子園球場約4個半分にもなります。処理方法は、活性汚泥を用いた生物化学処理で、消化槽でメタン発酵させ、汚泥の焼却燃料として利用するほか、焼却灰の一部はセメント原料に利活用するなど先進的な技術を採用しています。

奈良県の下水道普及率は、平成27年度末で78.9%（全国平均77.8%）、合併浄化槽等を加えた汚水処理人口普及率は、87.7%（全国平均89.9%）です。「大和川水質マップ」の平成21年度と平成26年度を比較すると、初瀬川、秋篠川、信貴川など7河川でBOD75%値が改善され、

下水道普及率の向上が寄与していると考えられます。

下水処理の今後の課題としては、人口減少や節水による下水使用料収入の減少、下水管等の設備の老朽化への対応、下水汚泥の有効活用などがあります。

（奈良環境カウンセラー協会 橋本）



# 《やまと菜の花ねっと》

## 「菜の花だより」

### 天理フィールド

天理教旭日大教会では 21.4kg、天理教本部境内係では 5.0kg の収穫がありました。

旭日大教会では、9月17日に旭日ソフトボールクラブの子どもたちと保護者の方で菜種の種まきを行いました。種まきの後は、できたての菜の花油を使った菜の花パーティを行い、サツマイモ、カボチャ、ナスなどの香ばしい天ぷらをいただきました。

天理教本部では、境内係の青年が空き時間を使って菜種を育てました。今年度の収量はやや少なかったのですが、貴重な菜種油は神殿の燈明用油に使われました。

なら橋プロジェクトの天理市柳本町と奈良市尼ヶ辻フィールドでも、大和橋の空いたところで菜の花を育てました。収量は両方で 35.1kg でした。こちらでできた菜種油は、関係者に配り大変喜ばれました。一部は治道公民館の公民館祭で販売しました。

山の辺の道沿いと垂仁天皇陵横のフィールドでも、黄色い元気な菜の花が、道行くハイカーをもてなしていました。



### 宇陀市深野の里フィールド



「深野ファンクラブ ぴあ」での 菜種の収穫量は 93Kg (耕地面積約 400 坪) でした。

電柵があるにもかかわらず鹿による被害が大きく、予定した収穫量に達しませんでした。今年は電柵の中に、もう一度菜種畑を囲むようにテープを設置しました。テープの外には鹿の足跡がありますが、今のところは畑に鹿が侵入した形跡はありません。このまま順調に生育すれば収穫量 100Kg も期待できるのではないかと楽しみにしています。

### 葛城フィールド(エコ葛城市民ネットワーク)

平成 28 年度の収穫は、310 kg ありました。

葛城市では、環境教育として各小学校で菜の花の植え付け体験をし、収穫も体験しています。その中でも新庄小学校では、秋の遠足の際に、東大寺に菜種油 4 本を奉納しています。奉納は、今年で 3 回目です。

また夏には、廃食油を使った手作りキャンドル 3,500 個と、廃食油を精製してできた、BDF(バイオ燃料)を燃料にする発電機を電源とした、イルミネーションによる「キャンドルナイトの集い」を開催しました。

平成 29 年度の第 7 回菜の花まつり in かつらぎは、4 月 8 日の予定です。





## 桜井フィールド (さくらい菜の花プロジェクト)

今年の収穫量は 520 kg でした。保育園児と菜の花を栽培し、市内の寺社へ奉納する取り組みが広がっており、今年は、第一・第五保育所と大神神社へ奉納、第二保育所と等彌神社へ奉納、第三保育所と長谷寺へ奉納しました。

桜井市の「歴史と里山資源を活かした地域づくり事業」の助成、明日香村の「ことだま」さんの協力により、菜種油を基本にしたドレッシングの試食会を開催して参加者に率直な意見を聞くなど、官民協働で商品開発を行っています。

## 奈良フィールド (宙塾)

今年も「菜の花と橘で結ぶ記紀万葉の道巡り」を開催しました。1 回目は「賣太神社に集う」を題して、古事記の語り部・学問の神を祭る賣太神社で、歴史散策と菜の花移植をしました。移植した菜の花は来年賣太神社のお祭りの時に「世界平和」を願って奉納する予定です。

2 回目は「大人の遠足 北山の辺の道を歩く」と題して県庁前から春日大社境内を歩き、禰宜の道から新薬師寺方面、北山の辺の道に入りました。最後は奈良佐保短期大学で奈良県統一ブランド「奈乃葉菜油」で作ったケーキやおにぎりを食べ、菜の花を移植しました。



## 「山の辺の道ファンクラブ」会員募集

歴史の道の景観保全のために、天理市渋谷地区の「景行天皇陵」付近の山の辺の道沿いに、菜の花などを植えて 3 年目になります。この活動を継続させるために多方面から会員を募集しています。

問合せ・申込先 (担当: さくらい菜の花プロジェクト)

TEL: 090-2380-0383 Email: hideko.nishida@gmail.com (西田)

FAX: 0743-64-1802 (安岡)

## 「橘だより」(なら橘プロジェクト推進協議会)



### 大和橘がたくさん実をつけ始めました。

今年は 3 年ほど前に植えた大和橘がたくさんの実を付け始めました。今まで西伊豆などに頼っていた橘の果実が、やっと自前で確保できる状態に近づいてきました。

春日大社「春日祭」では、神社の方からの依頼をいただき、大和橘の「葉つき橘」が神前に供えられました。年末には、山の辺の道沿いでもたくさん黄色い実がたわわに実り、「葉つき橘」として道行く人に配ったところ、大変喜ばれました。

今年の NHK の大河ドラマ「おんな城主直虎」の初回から、奈良の大和橘が登場しています。昨年 8 月末、突然 NHK の方から依頼をいただき、奈良で育てていた大和橘の木を 3 本提供しました。

12 月には、2 回目の橘収穫祭を行い、大和郡山市長もご自身で植樹された大和橘がたくさんの実を付け、喜んで収穫されました。大和郡山城の柳沢神社でも大和橘の植樹が行われ、現在、県下で約 40 の神社や寺院で大和橘が育っています。



# 平成29年度総会・交流会のお知らせ



日時：平成29年 4月18日（火） 午後

場所：奈良県文化会館 集会室A・B 会員の皆様には詳細は追って連絡いたします。

## 代表より メッセージ

平素は何かと当フォーラムにご協力いただきまして誠にありがとうございます。

奈良県環境県民フォーラムは、奈良県環境基本条例が平成8年12月に策定されると同時に、この条例を推進するための組織として、平成9年8月から活動を開始し、今年で20年目を迎えることとなりました。

当フォーラムは、環境保全活動を積極的に行っている県民、団体や企業等で構成し、相互の情報交換を通じてそれぞれの活動をステップアップするとともに、奈良県の環境保全活動の先導的役割を果たすことを目的としています。具体的には、二酸化炭素低減、循環型社会の構築、河川のクリーン化推進、菜の花プロジェクトや植樹活動、エコライフ推進、環境学習など、県内各地域で幅広く環境保全活動に取り組んでいます。

最近海外から多数の観光客を迎えておりますが、日本は空気がおいしく、景観もすばらしいと評判になっているようです。特に奈良県は、豊かな自然とともに歴史的に世界遺産にも恵まれているため、市民の方々が暮らしやすい環境づくりとともに、世界の各地域から訪れる方にも魅力を感じていただける環境づくりを目指したいと考えています。

昨年、新たに策定された奈良県環境総合計画（2016-2020）の基本理念である「豊かな自然と歴史との共生、美しい景観と持続可能な暮らしの創生」をもとに、これまでの20年間を振り返りながら、今後も皆様と協働し一層邁進していくとともに、新たな展開を目指して取り組みを進めてまいります。

今後ともご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

（代表委員 楠下）

募集中！！

## エコな～らライフ宣言



- ・CO2ダイエットに取り組んでいただける方からの宣言を募集中です！
- ・是非宣言し、植樹ツアーに参加しましょう！

宣言方法は以下の二通り

1. チラシに記入してFAXで送信（0742-22-1668）
2. 環境情報サイトエコならの宣言webサイトから宣言  
(<http://www.eco.pref.nara.jp/sengen/>)

### 賛助会員募集

奈良県環境県民フォーラムでは賛助会員として活動をご支援いただける企業、団体等を募集しています。当フォーラムの活動をご理解いただき、賛助会員としてご支援下さいますよう、お願い申し上げます。

### 特典

1. 広報誌「フォーラムだよ！り」等刊行物をお届けします。
2. ホームページに随時氏名（ご希望の方）を掲載いたします。
3. 主催事業（省エネ、省資源研修、エコクッキング教室など）に優先的にご参加いただけます。

編集・発行：奈良県環境県民フォーラム

事務局：〒630-8501 奈良市登大路町30番地 県環境政策課内 TEL：0742-27-8732 E-mail：kankyo@office.pref.nara.lg.jp